

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームすたーとる			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 20日		～	令和7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 20日		～	令和7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数)	2人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 20日		～	令和7年 3月 1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7カ所	(回答数)	6カ所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い知識と技術を用いて、支援方法の提案を行っている。	アセスメントを丁寧に行い、ニーズに沿った支援方法の提案を行うよう努めている。訪問先の先生方の困り感に寄り添いながら、実施可能な方法を提案している。	今後も引き続き利用児やご家族、訪問施設との共通認識を図りながら支援していく。
2	利用児の適応状況を確認しながら支援を行っている。	保護者を含む関わっている機関と情報連携や共有を密にししながら、様々な視点から利用児の状況を確認している。	子どもの成長や変化に合わせて、アセスメントを行い支援していく。
3	市の健診事業や就学支援事業等にも参加しているため、子どもを多面的に見ることができ、情報共有ができる	市主催の事業等とも協力連携しながら、多面的な支援ができるよう情報共有を行っている。	複数の職員で関わることで支援の幅が出てくると思われることから、訪問支援員を確保していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が児発管を兼務しており、すべての希望に沿う形での訪問支援の実施が難しい。	訪問支援員に対して、利用希望児が多い。	訪問支援の必要性の検討及び、訪問支援員の確保。
2	訪問先との行事等や、事業所での業務と併行して行うため、調整が難しいことが多く、訪問回数が確保できない。	観察に加えカンファレンスの時間調整が難しい。	保護者や訪問先のニーズを聞きながら、柔軟な対応について検討を行う
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
発達支援ルームすーとー		令和 7年 5月				13人	13人 (100%)
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	9			4		訪問時の教材教具を個別に揃えてはいない為、今後検討を行う。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	13					相談室で対応している。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続したい。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13					ご理解いただいております、継続したい。
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。	13					ご理解いただいております、継続したい。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12				1	保護者の意向や訪問先及び担任の意向も踏まえて作成しており、丁寧に説明していく。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	ガイドラインも踏まえて、具体的な支援方法を設定しており、丁寧に説明を行っていく。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				1	人員不足もあり、計画的に行われていない為、増員しながら計画的に行えるよう体制を整備していく。
保護者 への 説明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	12				1	訪問先の予定を優先しながら、負担にならないよう配慮に努めている。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	5	1	3	研修会などがあれば、ぜひ参加したいです。	研修会情報の提供は行っているが、家族支援プログラムは開催できていない。検討していく。
	15 必要などきこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					本当に良く話を聞いてもらい、精神的に助けられています。今後も保護者と連携を密にしながらサポートに努める。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					とても良く相談に乗ってくれているので良い職員さんばかりです。今後も保護者の相談しやすい環境を整えながら、迅速に対応していきたい。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
非常 時 等 の 対 応	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	12				1	訪問支援後に、保護者に対しても適切に情報共有に努める。
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
満 足 度	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12	1				利用者の気持ちを尊重しながら対応していく。
	28 事業所の支援に満足していますか。	13					ご理解いただいております、継続していく。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 7 年 5 月 日

発達支援ルームすたーと

利用施設

7施設

回収数

6施設 (回収率 86%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	2		・わかりやすく保育の中でも取り入れたり関わり方の参考になっている ・助言や説明などわかりやすくいただいているが、療育と園との環境の違いから、取り入れにくいものもある	園や療育との違いを充分理解した上で、訪問先で実践できる活動や支援方法等を助言できるよう努める。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1		・わかりやすいアドバイスだったり、どのような関りや声かけ（保護者対応含む）など、情報共有や相談しやすい	今後も、訪問先と連携し、支援方法などをわかりやすく丁寧に助言しながら、情報共有・連携に努める。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	1		・送迎時等、園での様子を聞いてくれたり事業所での様子を教えてくれている	質問や対応時の悩み等、即座に応えられるよう、知識・技術の向上に努める。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	1		・利用したことによって園児が落ち着いて保育の活動に取り組めるようになり、とても助かっている ・保護者とのフィードバック等で家庭とも情報共有することができるようになったことで、課題や困りごとを相談しながら進められるようになり、連携しやすくなった	訪問先施設の方針を尊重した上で、無理なく実施できる支援方法を提案できるよう、知識・技術の向上に努める。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	1		・事業所に通うようになり、本児の成長も大きく相談しやすい環境になったことで、アドバイス等をもとに保育にも役立てることができている ・療育を利用することで、落ち着きや情緒の安定が見られる	訪問先の負担にならないように気を付けながら、支援に満足していただけるよう努める。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・相談事にも多忙の中、日程調整をし訪問して下さり、子どもの対応方法等丁寧に説明していただくことで、共通の対応ができるなど、連携の取りやすい雰囲気である。今後もよろしく願います。</p> <p>・園児の発達支援においては、保育施設、療育施設、家庭との連携が重要であると考えている。困りごとや相談事がある時、真摯な対応してくれる為、担当する保育士、保護者も安心して子どもたちの支援ができています。引き続き、このような協力体制で、切れ目のない支援に努めていきたいと思う</p> <p>・送迎時に、今日あった出来事等、丁寧に話して下さり、また情報交換もでき、とても助かっている</p> <p>・訪問に来た際に、園児の姿を見た後で、助言を頂く時間をつくってほしい</p> <p>・事業所と保育園とで、利用園児の成長の様子や気付き、課題を年に1回~3回程度共有できたら、もっと向上につながると思う</p>					<p>□貴重なお意見に感謝いたします</p> <p>・今後も訪問先と連携や情報共有を密にしながら、対応していきたい。</p> <p>・協力体制を大切に、切れ目のない支援のため、連携しながら支援に努める</p> <p>・事業所の様子やご家庭の様子、園での様子等、情報共有及び連携しながら、成長のステップを支援していく</p> <p>・訪問時間が園の昼食時間等と重なり、話し合いを持つ時間が短くなっているため、話し合いを持つ時間の検討を行う。</p>	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームたーと		公表日		年 月 日	
実施	項目	チェック項目		はい	いいえ	出来ていると思う/改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点
		はい	いいえ				
業務改善	1	訪問支援に使用する場合の教員数等は適切であるか。	2		現在、訪問時に教員数保持は行っていない。	訪問支援時に教員数は使用していないが、今後必要であれば検討していく。	
	2	利用希望に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		訪問支援員が少ないため、ニーズに合わせて対応できる職員を確保したい。	現在、集中の場で直接支援が必要と利用希望があるが、今後職員を必要と対応したい。	
	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	2		ケースごとの情報共有や支援方針については、PDCAサイクルが実施できているが、多職種連携環境で維持する機会が少ない。	さらなる向上を目指す。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者からの要望等については、全員で話し合いを行っている。		
	5	保護者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		感じた点や疑問点等、職員がすぐに話し合える体制を整えている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		第三者評価実施なし。	今後必要であれば検討を行う。	
	7	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		外部研修を積極的に受講している。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所訪問支援計画を作成しているか。	2		発達支援支援を併用しており、個別や日課の様子等を踏まえ作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、発達支援管理責任者だけでなく、この事業に関与する職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		多職種事業所の協働で共有し検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		担任の意向も踏まえ作成している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		利用者の発達状況や訪問の行事等を優先している。	柔軟な対応ができるよう、人員確保に努める。	
	12	子どもの認知行動の変化を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		行動観察と保護者や訪問先施設との情報共有にて評価している。	ツールの検討を行う。	
	13	「保育所等訪問支援計画」には、保育所等訪問支援が「ドライン」の「保育所等訪問支援の目的(内容)」も含まれるが、具体的な実施内容が設定されているか。	2		保育所等訪問支援が「ドライン」を踏まえた支援内容を設定している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	1	計画に沿った支援が行えているが、人員不足が認められる。	柔軟な対応ができるよう、人員確保に努める。	
	15	支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		訪問支援員が限られており、支援の偏りも発生している。	柔軟な対応ができるよう、人員確保に努める。	
	16	支援終了時には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	2		多職種事業所であり、当日できないこともある。	複数の職員ミーティングを通して共有していく。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援方法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先の方針を尊重している。		
関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に際して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		訪問後に報告書を作成し、支援の検証や改善につなげている。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向を確認してモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しが必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的な見直しや家庭支援を通して方向性について確認を行っている。		
	20	療育相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことでの状況をよく理解した者が参加しているか。	2		発達支援管理責任者が参加している。		
	21	地域の保健、医療(主治医や臨床心理士等)、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		各会議への参加、同行等、積極的に行っている。		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		移行前に情報共有を行う場を設けて、相互理解に努めている。		
	23	個々の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		発達支援管理責任者(訪問職員)が参加している。		
	24	(自主支援)相談員子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		発達支援管理責任者(訪問職員)が参加している。	引き続き参加していく。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		お寄りや家庭支援を通して、共通理解を図っている。		
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して発達支援プログラム(プリント、トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	2		研修会の情報提供は行っているが、家庭支援プログラム等の実施していない。	関係について検討していく。	
	27	課業規程、利用規程等について丁寧な説明を行っているか。	2		利用規約時に行っている。		
保護者等への説明	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問支援を開始する際も必要に応じて、説明を行っている。		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意向の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	2		モニタリング等を通して、意向を確認する機会を設けている。		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		保護者からの同意を得ている。		
	31	定期的に、要保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っているか。	2		随時相談を受けつけ、いつでも相談できる体制を作っている。		
	32	子供の発達を支援することや、保護者等も関与する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		保護者同士での交流の場も設けているが、開催に付いて検討していく。		
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の進捗を把握するとともに、子どもや保護者に告知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		随時相談できる体制を作っている。		
	34	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動履歴や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		HPで情報発信を行っている。		
	35	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報等の取扱いに留意している。		
	36	児童のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		視覚的なアプローチ等を活用しながら、家庭でも取り組めるよう支援している。		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に応じた対応の体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		随時対応している。		
非常時の対応	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問前出席と話し合いを行っているが、参加する職員や時間等を今後検討していく。		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家庭等へ適切な支援内容の共有を行っているか。	2		実施後に保護者と共有の時間を設けている。		
	40	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報等の取扱いに留意している。		
	41	訪問先施設からの相談に適切に対応し、復旧等を早急ながら、適切な対応を行っているか。	2		日々のやりとり等を通して、信頼関係の構築を促すよう努めている。		
	42	消防防災マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		各種マニュアルを整備している。		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な訓練を講じる等、安全管理が十分な中で実施が行われているか。	2		日々の清掃等を通して安全管理に十分気を付けている。		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	2		事業所内で作成しており、方策についての検討を行っている。		
	45	条件を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応策を行っているか。	2		研修の機会を確保している。		
	46	このような場合にやむを得ず身体拘束を行う方について、組織的に策定し、この旨を保護者等に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援支援計画に記載しているか。	2		現在、身体拘束を行う事例はない。		